説明資料

第1回　美和ダム・小渋ダム堆砂対策検討委員会

委員会設置の目的

令和7年3月11日

国土交通省 中部地方整備局
天竜川ダム統合管理事務所

1. 美和ダム・小渋ダム堆砂対策検討委員会について

（1）委員会設置の目的

- 委員会は、美和ダムおよび小渋ダムに設置された**堆砂対策施設等の効率的、効果的な運用方法および今後の貯水池内堆砂対策等**について、専門家からの意見・助言を聴くことを目的に、天竜川ダム統合管理事務所長(以下、「事務所長」という。)が設置する。

（2）本委員会で議論する主な事項（案）

美和ダム

1）堆砂対策施設（土砂バイパストンネル・ストックヤード）等運用検討
①運用方法
②機能改善

2）堆砂対策検討
①貯水池内堆砂対策
②堆砂土砂活用

3）影響・効果検討
①土砂収支
②施設
③下流河川

4）その他
①高遠ダムの堆砂対策

小渋ダム

1）土砂バイパストンネル等運用検討
①運用方法
②機能改善

2）堆砂対策検討
①貯水池内堆砂対策
②堆砂土砂活用
③土砂還元手法

3）影響・効果検討
①土砂収支
②施設
③下流河川

2. 本委員会設置の背景とこれまでの取り組み

（1）令和5年度までの堆砂対策の取り組み

■美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会

【事務局」三峰川総合開発工事事務所
【期　間】平成28年度～令和5年度：全13回

美和ダム

- 美和ダムでは、湖内堆砂対策施設（ストックヤード、導水路、取水ゲート、排砂ゲート）の試験運用計画と、これによる施設や環境に与える影響の予測・検討、これらを管理するためのモニタリング計画などについて検討するべく、「美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会」を開催した。
- 平成28年度～令和5年度まで開催され、全13回で終了した。
- 令和5年度末に三峰川総合開発事業が完了し、三峰川総合開発工事事務所は閉所した。

■小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員会

【事務局」天竜川ダム統合管理事務所
【期　間】平成28年度～令和5年度：全12回

小渋ダム

- 小渋ダムでは、土砂収支部会、構造部会、環境部会により、流入土砂量・バイパス土砂量の把握やバイパス運用方法、トンネルの摩耗状況の把握や補修方法、下流河川への影響等について検討を進め、「小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員会」を開催した。
- 平成28～令和5年度の期間はバイパスの試験運用を実施しながら、バイパスの効率的な運用方法を検討してきている。
- 令和5年度の第12回モニタリング委員会において、令和6年度から始まる本運用での運用計画、維持管理計画、モニタリング計画等を定めた。

- 美和ダム・小渋ダムでは、引き続き、洪水調節容量内に堆砂した土砂への対策が必要。
- 美和ダムでは、ストックヤードの効率的・効果的な運用や、高遠ダムのスルーシング含む検討等が必要。
- 小渋ダムでは、土砂バイパストンネル活用の最大化とともに継続的な維持掘削の実施による堆砂対策ともに、恒久的な堆砂対策の実施に向けた新たな検討が必要。
- 運用を重ねながら、土砂収支の把握手法、堆砂対策、モニタリング計画等の検証・点検も引き続き必要。

2. 本委員会設置の背景とこれまでの取り組み

（2）令和6年度からの取り組み

■美和ダムの残された課題

美和ダム

- 「美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会」では、ストックヤードによる環境への影響は軽微と評価されたが、生物への長期的な影響を把握する必要性を指摘されている。
- 高遠ダムとの連携（スルーシング運用）も考慮した土砂バイパス、ストックヤードの効率的・効果的な運用方法、維持掘削方法は引き続き検討を実施していく必要がある。

■小渋ダムの残された課題

小渋ダム

- 「小渋ダム土砂バイパストンネルモニタリング委員会」では、令和6年度からの本運用結果を踏まながら、さらなるバイパスの効率的な運用に向けて、バイパス運用計画及び土砂収支計画の継続的な検討が必要である。
- 貯水池の堆砂進行を抑制するためにはバイパス運用だけでなく、維持掘削等の恒久的な堆砂対策が必要である。

■美和ダム・小渋ダム堆砂対策検討委員会

【事務局】天竜川ダム統合管理事務所　　長野県企業局南信発電管理事務所
【期　間】令和6年度～

- 令和6年度から「美和ダム・小渋ダム堆砂対策検討委員会」を設置し、美和ダム、小渋ダムのバイパス等運用（美和ダムストックヤード運用、高遠ダムとの連携含む）、恒久的な堆砂対策の検討を実施していくものとする。
- 第1回美和ダム・小渋ダム堆砂対策検討委員会を、令和7年3月11日に開催する。